

様式 A-1  
(FY2022)

令和4年 12月 5日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者 山梨県立甲府第一高等学校・川崎義碩
2. 講師氏名: Dr. Nicola Charlotte THOMAS(Ms.)
3. 講義補助者氏名: Ms. Alexandra Roland
4. 実施日時: R4 年 11 月 18 日 (金) 13 : 20 ~ 15 : 15
5. 参加生徒: 1 年生 56 人、 2 年生 50 人、 3 年生 0 人 (合計 106 人)  
備考: (例: 理数科の生徒) 探究科の生徒
6. 講義題目: Urban empowerment: the case of Yata in Osaka
7. 講義概要:  
都市社会学という観点から、どのように地域の現状を改善していくのかについての講義であった。講義の中では、デンマークおよび大阪の矢田地区でのコミュニティーエンパワメントの実践例について紹介があり、欧米と日本におけるコミュニティーに対する認識の違いやコミュニティー活動に対する人々の認識の差異などについても説明があった。
8. 講義形式:  
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
  - 1) 講義時間 90 分 質疑応答時間 25 分
  - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講義および質疑応答
  - 3) 事前学習  
有 ・ 無 (どちらか選択ください。)  
使用教材 講師の方が事前に送ってくださった講義資料
9. その他特筆すべき事項:  
特になし。

様式 A-4  
(FY2022)

### サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。  
(探究科の生徒に対して、最新の科学の知見に触れさせるため。また、英語の運用能力を育成するため。 )
2. 事前打ち合わせについて  
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)  
1)  2回以上面談       1回面談       メール       電話  
     その他( )  
2)  直接講師と       講義補助者を介して       高校の英語教諭の協力  
     その他( )  
打ち合わせ内容を教えてください。  
( 講義の時間設定、講義内容の確認、当日使用する備品の確認など )
3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？  
 理解できた。       ある程度理解できた。  
 あまり理解できなかった。       全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？  
 専門性が高く、難解だった。       ちょうど良かった。  
 より専門的な内容を講義してほしかった。
5. 事前学習は行いましたか？  
 行った(具体的な内容: 事前に頂いた講義資料を読ませて、質問を考えさせておいた。 )  
 行わなかった
6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？  
本校では、各々が対象として選んだコミュニティ(地域、子ども、外国人など)を活性化させるための探究活動を行っている生徒が多いので、講師の方が紹介して下さった欧米や日本での様々なコミュニティ活動の実践例は、その良い参考になった。また、講師と補助者の方の学問への探究心や研究の経歴が、生徒にとって参考にすべきロールモデルとなった。
7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？  
 良かった       普通       良くなかった  
  
良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。  
+社会と関わる探究活動を行う生徒が多いため、講師の方の社会的なアプローチの研究紹介自体が参考になった。  
+生徒の一部には英語の難易度が高かった部分があったが、補助者の方が適宜必要な情報を日本語で補ってくれた点。  
-有益な講義だったので、もう少し生徒による質問の時間を増やすことができれば良かった。
8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。  
学校の教育活動は学校内部で完結してしまいがちであるが、今回の講義を通して、地球儀規模で考え地域で活動する(TGAL)の好例について学ぶことができました。ご手配など、大変ありがとうございました。
9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？  
 是非活用したい       機会があれば活用したい       活用したくない

\*ご協力ありがとうございました。

日本学術振興会(JSPS)